

# 学生が『学ぶ』関わり方を考える

## ～よりよい授業や学生支援のために～

## ◆開催日時・場所◆

# 9月6日(金)13:00～18:00

## 会場:大東文化大学 信濃町校舎(JR信濃町駅下車徒歩0分 信濃町駅ビル3階)

※終了後18:30より情報交換会を予定しております。是非ご参加下さい。

## ◆開催に向けた思い◆

「教育サロン」とは、「学生に対する願い」「授業に対するこだわり」「ご自身の専門分野に対する想い」などをお持ちの方々が、経歴、専門分野、授業内容、向き合う学生、それらの違いを超え、テーマについてざっばらんに語り合う場です。話題提供していただく先生もいらっしゃいますが、その内容だけにとらわれることなく、むしろ触発されて出てきた、参加者の方々のワクワク感、嬉しかったこと、またお悩み、学生さんのお話などを、話していただけるような場になればと思っております。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

## ◆プログラム予定◆

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏 会場校挨拶 大東文化大学 国際関係学部 押川典昭先生(予定)
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	話題提供、質疑応答
<b>話題提供者:福岡大学 工学部 機械工学科 山口住夫氏</b> <b>【内容】タイトル:先生が汗をかけば、学生は学ぶ</b> 「日本の大学生が勉強しないのは、先生がさせていないから」という一文を読んで、「そうか、させればいいんだ」と考え、以来「どうやれば学生が勉強せざるを得なくなるか」と考えながら方法に改良を加えてきました。シラバスから日常のレポート評価、試験の方法、成績評価までのすべてを連動させて勉学の習慣をつけさせながらレポートの書き方の指導まで行っている方法についてお話しします。結論は「先生が頑張れば、学生も頑張る」です。 <b>【プロフィール】</b> 専門は流体力学。福岡大学工学部機械工学科卒業。工学博士。大学の改革、とくには学生が主体的に学ぶ授業や関わりに強い関心を持っており、学内情報システムに教育支援システムを構築し、さらに福岡大学教育開発支援機構・教育サロンを立ち上げサロンマスターを担当、さらには、九州教育サロンの立ち上げ・運営にも尽力されている。	
15:55	話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有
17:45	閉会の挨拶 大東文化大学 国際関係学部 岡本信広先生 (18:00終了)

### 発起人:名城大学 人間学部 池田 輝政氏

**【プロフィール】**専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公立の大学教員のための授業開発研修会、大学および初等・中等学校の指導層への戦略開発研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)など



その他会場でも教育サロンを予定しています。ぜひご参加ください。(詳細はお問い合わせください)

名古屋	日程:9月28日(土)	場所:愛知学院大学	時間:13:00～18:00
福岡	日程:8月31日(土)	場所:福岡大学	時間:12:00～18:00
大阪	日程:9月1日(日)	場所:大手前大学	時間:13:00～18:00

## ◆参加費 無料(情報交換会のみ 別途4,000円)

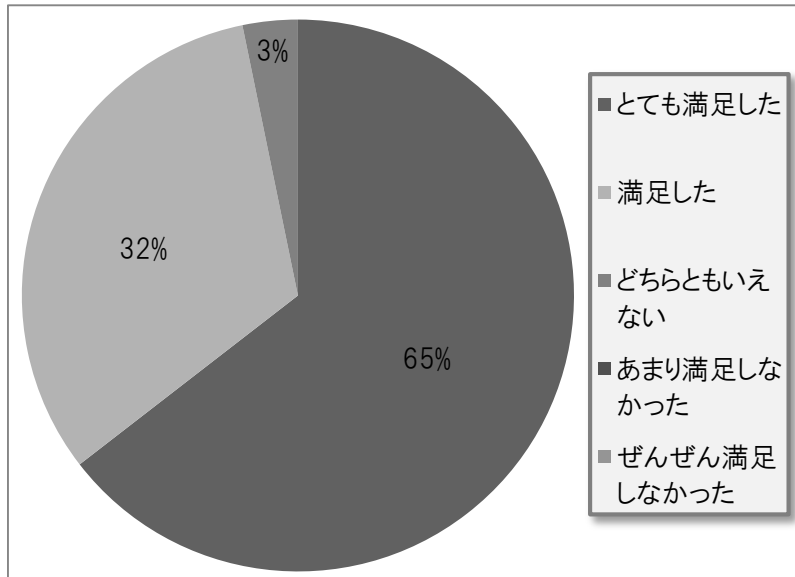
**【お申し込み・お問い合わせ】** ご所属(大学名・学部/部署名・役職名)、お名前、ご連絡先(メールアドレス・電話番号)、情報交換会参加の有無を明記のうえ、下記メールアドレスまでお申込みください。お問い合わせはお電話でも受け付けております。

## プログラム内容

会場校:大東文化大学

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政先生 会場校挨拶 大東文化大学 国際関係学部 押川典昭先生
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	話題提供、質疑応答
<b>話題提供者:目白大学 外国語学部 日本語・日本語教育学科 佐藤広子先生</b> <b>【内容】</b> 1年生が対象の授業「表現演習Ⅰ」についてお話しいただきます。この授業では、後半に発表会が設けられています。学生達は、発表会に向けて「読む」「書く」「話す」の中から発表するテーマを選びます。発表会では、「言葉の力で思いを届ける」をコンセプトに、学生全員がテーマに則った発表を行います。この学生達に見られたのは、授業を重ねるごとに、お互いのことを理解し、互いに啓発しながら、自ら学んでいく姿です。今回佐藤先生には、この授業に対する「思い」や「考え」、そして具体的にどんな授業をしているか、さらには学生達にどんなことが起こっているかなどについてお話しいただきます。 <b>【プロフィール】</b> 日本女子体育大学附属二階堂高等学校国語科教諭を経て、2012年から目白大学で「表現演習Ⅰ」を担当。高等学校在籍時に、国語科教諭全員と協働したワークショップ型「国語表現」の授業実践で第54回読売教育賞国語教育部門優秀賞受賞。共著書に『日本語力をつける文章読本』(東京大学出版会)、『文部科学省委嘱研究国際理解教育実践事例集 中学校・高等学校編』(教育出版)、『学習スキルの考え方と授業づくり』(教育出版)などがある。	
15:55	話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有
17:15	閉会の挨拶 大東文化大学 国際関係学部 岡本信広先生 (17:30終了)

Q. 本日の満足度について教えてください。また、その理由についてお聞かせください。



### <フリーコメント>

- 活動を行うことで、グループ作りをするときも話題のきっかけとなりました。ネームプレートにアピールポイントを書くなど、ほんの少しのアイデアで雰囲気づくりに役立つことを学び、参考になりました。
- ベストティーチャーの実際を体験することができ、この佐藤流教育づくりを方法化して、普及させていきたいと思いました。書けることはたくさんありますが、ここでは「感謝」で、終わります。
- 自分が忘れていたことを(マンネリ化)刺激していただき、ありがとうございます。学生を信じて、待って、たくさんの学生数を動かす方法を模索していきたいと思えます。
- 教師としてのスタンス、心構えの大切さを感じました。
- こういうふうに他大学の先生方とお話しできるのは、貴重な機会だと思います。是非また、参加したいです。

合計人数	とても満足した	満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	ぜんぜん満足しなかった
31	20	10	1	0	0
	64.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%

- 多くの大学で現在の学生教育に対し戸惑いを覚えていることを共有し、少し心が軽くなった。様々な大学で、学生の能動性を引き出そうとする工夫や悩みを知ることができて参考になった。
- 他大学の皆さんも苦労はしながら頑張っているんだと再認識できました。
- いろいろな大学で、いろいろな立場の方から、お話を聞きました。より良い授業展開をめざしていても、各々の事情なりがあって即、実践とはなかなかいかないようであることも感じ取れました。しかし、そういう氷を溶かしていく契機としても、今回のような会を繰り返していく必要があるかと思えます
- 大学教育のコンセプト、技術などを大学を超えて、共有することは日本の大学教育のレベルを上げていかなきゃならないとおもいます。